

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 東海財務局長

**【提出日】** 平成26年2月10日

**【四半期会計期間】** 第64期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

**【会社名】** ハビックス株式会社

**【英訳名】** HAVIX CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 木村敏之

**【本店の所在の場所】** 岐阜県岐阜市福光東三丁目5番7号

**【電話番号】** 058 - 296 - 3911(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 窪田博昭

**【最寄りの連絡場所】** 岐阜県岐阜市福光東三丁目5番7号

**【電話番号】** 058 - 296 - 3911(代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 窪田博昭

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第63期 第3四半期 連結累計期間		第64期 第3四半期 連結累計期間		第63期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年12月31日	自 至	平成25年4月1日 平成25年12月31日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高 (千円)		6,645,735		7,809,194		8,733,366
経常利益 (千円)		573,735		456,875		612,524
四半期(当期)純利益 (千円)		339,122		348,231		348,757
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		348,289		358,076		377,177
純資産額 (千円)		4,962,529		5,270,698		4,991,417
総資産額 (千円)		9,782,483		9,999,278		10,469,739
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)		43.44		44.61		44.68
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		50.7		52.7		47.7

回次 会計期間	第63期 第3四半期 連結会計期間		第64期 第3四半期 連結会計期間	
	自 至	平成24年10月1日 平成24年12月31日	自 至	平成25年10月1日 平成25年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)		15.98		14.67

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

#### (1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や日銀による金融政策の効果などにより、円安や株高が進行し輸出企業を中心に収益の改善傾向がみられ、設備投資にも持ち直しの動きがみられるなど、全体として緩やかな回復基調で推移しました。一方、当社の属する業界においては、円安による原燃料価格の上昇が続くなかで、製品価格への転嫁が十分には進まず、経営環境は厳しい状況で推移しました。

こうした環境のなか当社グループは、化合繊不織布を中心に販売拡大に積極的に取り組む一方、全社あげてのコスト削減に取り組むなど、業績の向上に努めてまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は78億9百万円(前年同期比17.5%増)、営業利益は4億46百万円(同24.3%減)、経常利益は4億56百万円(同20.4%減)となりました。四半期純利益は本巢工場建設に伴う補助金収入があったことから3億48百万円(同2.7%増)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### a . 不織布関連事業

外食産業の復調傾向の中、パルプ不織布原反はオシボリ用途が堅調に推移したことにより売上高が増加しました。同様に、パルプ不織布加工品も既存のOEM製品の販売が堅調に推移したことにより売上高が増加しました。化合繊不織布は、一昨年12月に新設した本巢工場が順調に稼働し、紙オムツ向け製品の販売数量が大幅に伸長したことにより売上高が増加しました。その他不織布は、食品工場向け製品の販売が堅調に推移したことにより売上高が増加しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は44億44百万円(前年同期比28.1%増)、セグメント利益は6億10百万円(同7.8%減)となりました。

#### b . 紙関連事業

衛生用紙は、紙オムツ向け製品の販売数量が伸長したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は33億64百万円(前年同期比6.0%増)、セグメント利益は3億90百万円(同21.6%減)となりました。

(2) 財政状態の分析

総資産は、前連結会計年度に比べ4億70百万円減少して99億99百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が3億74百万円増加、電子記録債権が3億19百万円増加、現金及び預金が9億23百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ7億49百万円減少して47億28百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が3億43百万円増加、借入金が4億52百万円減少、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が4億81百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ2億79百万円増加して52億70百万円となりました。これは主に利益剰余金が2億70百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は52.7%となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間の研究開発費の総額は37百万円であります。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因および経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

(6) 経営者の問題認識と今後の方針について

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの経営者の問題認識と今後の方針に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	32,000,000
計	32,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年2月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,175,280	8,175,280	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は1,000株であります。
計	8,175,280	8,175,280		

(注) 平成25年12月26日開催の取締役会決議により、平成26年2月1日をもって、単元株式数を1,000株から100株に変更しております。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日		8,175,280		593,660		603,260

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 369,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,772,000	7,772	
単元未満株式	普通株式 34,280		
発行済株式総数	8,175,280		
総株主の議決権		7,772	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ハビックス株式会社	岐阜県岐阜市福光東三丁目5番 7号	369,000		369,000	4.51
計		369,000		369,000	4.51

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,201,097	1,277,876
受取手形及び売掛金	<sup>1</sup> 2,871,826	<sup>1</sup> 3,246,034
電子記録債権	-	<sup>1</sup> 319,764
商品及び製品	197,428	245,750
仕掛品	11,313	2,064
原材料及び貯蔵品	421,776	438,984
その他	145,307	84,376
貸倒引当金	23,727	23,727
流動資産合計	5,825,023	5,591,124
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,115,608	3,134,268
減価償却累計額	1,681,981	1,748,571
建物及び構築物(純額)	1,433,627	1,385,697
機械装置及び運搬具	6,082,758	6,165,513
減価償却累計額	4,504,452	4,718,669
機械装置及び運搬具(純額)	1,578,305	1,446,843
土地	1,070,586	1,070,586
その他	295,063	269,648
減価償却累計額	148,726	168,760
その他(純額)	146,337	100,888
有形固定資産合計	4,228,856	4,004,015
無形固定資産		
のれん	8,179	-
その他	41,557	32,104
無形固定資産合計	49,737	32,104
投資その他の資産		
その他	384,502	390,414
貸倒引当金	18,380	18,380
投資その他の資産合計	366,122	372,034
固定資産合計	4,644,716	4,408,154
資産合計	10,469,739	9,999,278



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	<sup>1</sup> 1,754,027	<sup>1</sup> 2,097,443
短期借入金	684,342	590,800
未払法人税等	176,409	23,538
賞与引当金	99,390	50,929
役員賞与引当金	40,000	30,000
その他	<sup>1</sup> 891,234	<sup>1</sup> 450,428
流動負債合計	3,645,405	3,243,139
固定負債		
長期借入金	1,451,885	1,093,328
退職給付引当金	135,823	131,191
その他	245,206	260,921
固定負債合計	1,832,915	1,485,441
負債合計	5,478,321	4,728,580
純資産の部		
株主資本		
資本金	593,660	593,660
資本剰余金	603,260	603,260
利益剰余金	3,822,999	4,093,167
自己株式	68,938	69,670
株主資本合計	4,950,981	5,220,416
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,436	50,281
その他の包括利益累計額合計	40,436	50,281
純資産合計	4,991,417	5,270,698
負債純資産合計	10,469,739	9,999,278

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,645,735	7,809,194
売上原価	4,962,596	6,259,151
売上総利益	1,683,139	1,550,043
販売費及び一般管理費	1,093,200	1,103,297
営業利益	589,938	446,745
営業外収益		
受取利息	294	754
受取配当金	5,183	5,438
為替差益	-	7,654
故紙売却収入	5,013	6,357
その他	4,473	10,705
営業外収益合計	14,963	30,910
営業外費用		
支払利息	10,214	14,248
シンジケートローン手数料	14,650	-
その他	6,302	6,532
営業外費用合計	31,166	20,780
経常利益	573,735	456,875
特別利益		
補助金収入	-	115,710
特別利益合計	-	115,710
特別損失		
投資有価証券評価損	751	-
特別損失合計	751	-
税金等調整前四半期純利益	572,983	572,585
法人税、住民税及び事業税	225,374	156,304
法人税等調整額	8,486	68,049
法人税等合計	233,861	224,353
少数株主損益調整前四半期純利益	339,122	348,231
四半期純利益	339,122	348,231

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	339,122	348,231
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,167	9,844
その他の包括利益合計	9,167	9,844
四半期包括利益	348,289	358,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	348,289	358,076
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日または現金決済日をもって決済処理しております。なお、当第3四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
受取手形	120,727千円	85,074千円
電子記録債権	千円	12,189千円
支払手形	301,844千円	320,999千円
設備関係支払手形	476,288千円	4,970千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
減価償却費	279,049千円	323,638千円
のれんの償却額	12,269千円	8,179千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	78,067	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	78,063	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの  
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	3,470,167	3,175,568	6,645,735		6,645,735
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	3,470,167	3,175,568	6,645,735		6,645,735
セグメント利益	662,096	498,396	1,160,492	570,554	589,938

(注) 1 セグメント利益の調整額 570,554千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注)2
	不織布関連事業 (千円)	紙関連事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	4,444,521	3,364,673	7,809,194		7,809,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	4,444,521	3,364,673	7,809,194		7,809,194
セグメント利益	610,186	390,615	1,000,801	554,055	446,745

(注) 1 セグメント利益の調整額 554,055千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	43.44円	44.61円
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	339,122	348,231
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	339,122	348,231
普通株式の期中平均株式数(株)	7,806,386	7,805,553

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月5日

ハビックス株式会社  
取締役会御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 渋谷 英 司 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 内山 隆 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているハビックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ハビックス株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。